



大阪部会(第 32 回)

日 時: 2013 年 2 月 23 日(土) 18:00~20:15

場 所: 同志社大学大阪サテライトキャンパス

【内容要旨】

第 32 回の大阪部会の出席者は 10 名。

- (1) まず、経済教育ネットワーク篠原代表(同志社大学)から、最近の活動内容および今後の予定が報告された。とくに、内容や担当が決まりつつある 2013 年度「先生のための経済教室」についての意見交換が行われた。議論の結果、学者と現場教員との連携プログラムの有力テーマとして、社会保障を検討することになった。その他、行動経済学に関する講義も予定されている。大阪では 8/5(月)に中学教員、8/6(火)に高校教員向けの研修が実施される。
- (2) 2/16(土)に川口市立里中学校にてワークショップが開催された。また、2 月に予定されていた稚内でのワークショップは、3 月に延期されることになった。その他、3/23(土)には同志社大学で年次大会が開催される。
- (3) 高橋勝也氏(東京都立桜修館中等教育学校)の授業提案「最低賃金制度を法と市場経済で考える」、加藤一誠氏(日本大学)が桜修館で行った講演「幸せの人生を”経済しよう”-社会に参加する君たちへ」の資料の紹介があった。
- (4) 谷正博氏(寝屋川市立中木田中学校)から、「価格の決定」の授業指導案が紹介された(実際の授業者は寝屋川市立第十中学校浅野哲司氏)。きゅうり(農作物)の価格変動と制汗剤(工業製品)の価格変動との違いから、価格が何によって決まるかを考察させる授業内容で、メーカーからの協力もあって身近で興味関心を引く教材となっている。ただし、需要曲線、供給曲線とのつながりにこだわることは避けて、生徒にたくさん考えさせ発表させることを中心にした方がよいとの意見が多かった。なお、この授業は 2013 年の全中社研(大阪)で公開実施される予定である。
- (5) 野間敏克(同志社大学)より、札幌部会の様子報告と、いくつかの資料紹介があった。
- (6) 吉田英文氏(生野高等学校)から、弁護士を教室にまねいて実施された「とっておきの授業」の経過及び結果報告があった。弁護士が一方向的に講演するのではなく、『契約』などについての弁護士の話、教師による授業との関連づけ、生徒への発問・回答、弁護士からの解説、などが組み合わせられており、非常に興味深い授業報告である。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2013 年 4 月 27 日(土)18:00~20:00、場所は未定。